

2025 年度 活動報告書

ANNUAL REPORT



ハッチョウトンボ@こどもの森

理事長あいさつ



市瀬 拓哉

2025 年度は、萌芽の年でした。「立ち寄り」から「滞在」へと掲げ、丹後海と星の見える丘公園の指定管理者に再度選定されるとともに、生物多様性の保全が図られている場所を環境省が認定する「自然共生サイト」に認定され、新たな一歩を踏み出す年となりました。2026 年度は丹後海と星の見える丘公園が 20 周年。2027 年度は地球デザインスクールの活動開始 30 周年を迎えます。これまでの活動の歴史を振り返りながら、温故知新で歩みを進めていきます。

2025 年度のあゆみ

		2025 年						2026 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
公園事業	イベント・プログラム	・星と海のナイトパーク (夜のカフェ営業) ・京都教育大学連携プログラム ・丹ガキになろう！2026 イベント出店 (京都環境フェスティバル) ・冬ガキになろう！2025 イベント出店 (青少年海洋センターマリニールピア) ・星と海のナイトパーク (夜のカフェ営業) ・イベント出店 (超 ECO 祭) ・醤油搾りデイ ・京都教育大学連携プログラム 星と海のナイトパーク (夜のカフェ営業) ・イベント出店 (丹後 WOOD FESTIVAL) ・星と海のナイトパーク (夜のカフェ営業) ・里山ラソン2025 イベント出店 (EKO spot KYOTO) ・うみほし楽しまナイト (土星観察) ・星空キャンプ2025 ・うみほし楽しまナイト (昆虫ナイトトラップ) ・うみほし楽しまナイト (星空鑑賞) ・うみほし楽しまナイト (夜のホタル鑑賞) ・きょうと★いきものフェス！ 2025 うみほし ・アースデイ丹後2025 ・バードカービング展											
通年事業	トビックス	小学校・団体受入 環境教育プログラム ・自然体験事業実施 生態調査・保全整備											
		計 15 回の生態調査・保全整備											
		(モニタリングサイト 1000 : 8 回、ハッチョウトンボの個体数調査 : 2 回、湿地整備 5 回)											

丹後海と星の見える丘公園事業

プログラム

〔環境教育プログラム〕

- ・森の楽校：342 名
- ・海の楽校：411 名
- ・里の楽校：385 名
- ・星の楽校：899 名
- ・京都自然塾：226 名



アースデイ丹後2025

〔イベント形式開催〕

- ・アースデイ丹後 2025
きょうと★いきものフェス! 2025
：800 名
- ・里山ラソン：44 名
- ・星空キャンプ 2025：25 名
- ・冬ガキになろう! 2025：10 名
- ・丹ガキになろう! 2026：13 名
- ・星と海のナイトパーク（全4回）：240 名
- ・しょうゆ搾り体験：9 名
- ・京都教育大学生企画（2回）：46 名



きょうと★いきものフェス2025INうみほし



冬ガキになろう! 2025冬

公園でのプログラムやイベント実施に加え、行政・民間企業・近隣施設との連携を多く行い、各地で自然体験や環境学習の機会を提供しました。普段、公園に足を運ぶ機会のない方々との出会いも多く、新たな層へのアプローチにもつながり、活動の広がりを実感する一年となりました。

また、「きょうと☆いきものフェス in うみほし」という丹後最大級のいきものイベントを開催し、多くの来場者に生きものの魅力を発信することができました。今後もこれらの取り組みを大切に継続し、丹後の自然の魅力を発信していきます。

環境教育プログラム参加者数



2,263 名

プログラム
実施の学校数

27 校

イベントに参加した人数



1,789 名

2025 年度・公園に宿泊した人数



1,748 名

公園管理

〔森のカフェ - リニューアル -〕



こどもの森にある「森のカフェ」のリニューアル工事を行いました。本棚を設置し、寄贈いただくなど地球デザインスクールで蓄積してきた本を配置。ゆっくりと読書できる空間へと進化しました。また、屋外は幼児向け遊び空間の基礎整備を行い、今後複数年をかけてバージョンアップしていきます。

〔魚魚（とと）チャレンジオープン!〕



京都府立海洋高等学校から 13 名の生徒を土木実習で受け入れました。実習では体験学習の機会の提供とともに、公園の魅力向上を目的に、これまで園内の名所や散策路の整備に取り組んでいただいています。今年は、昨年度に整備した散策路の延長部分の整備に取り組まれました。手作業で急傾斜地を切り拓き、仲間と協力して散策道を作り上げられました。

〔【ぼうけんの森】の復活〕



参加型ワークショップで作られた「ぼうけんの森」は、遊具の老朽化や植物の成長により、10 年程閉鎖となっていました。長く生えた笹を刈り、道を整備し、新たに遊具を職員の手作りで設置。切り株、石が無造作に置いてあり、こどもたちはそれぞれの楽しみ方で遊んでいます。こどもたちの笑顔や真剣な表情がたくさん生まれる場所です。

※2026 年 5 月時点は常時開放ではありません。

けとはれのあわい事業

「けとはれのあわい」では、自然とつながる温かな時間を大切にしてきました。

今年度は、恒例の「手前醤油絞り体験」や、キッチンガーデンでの「イチゴ収穫体験」、栽培した野菜の食堂提供など、五感を満たす体験を提供しました。日常と非日常が溶け合うこの場所で、訪れる方々が「暮らすように過ごす」喜びを感じられるよう、今後も歩んでいきます。



醤油搾り師を招いて開催。リピーターの方も初参加の方も、搾りたての醤油を卵かけご飯にかけて堪能しました。



「星と海のナイトパーク」の様子

新たに「星と海のナイトパーク」を開催しました。夜の公園でしか味わえない星空案内や、焚火の体験、森のカフェを使用して飲食の提供を行い、新たな滞在スタイルの確立を目指しました。その結果、開催日は多くのご予約を賜り、リピーターが増え、近隣にお住まいの方にもお越しいただけるイベントとなりました。

NPO 事業

生態系保全

京都府登録天然記念物であり、準絶滅危惧種のハッチョウトンボが今年度も発生しました。昆虫学会所属のボランティアの方に協力いただき、個体数調査を実施。最盛期で約 260 頭を確認することができました。



指定管理している丹後海と星の見える丘公園での自然保護活動や環境教育の実績が評価され、環境省から生物多様性の保全が図られているエリアである「自然共生サイト」に認定されました。同時に安田理事が代表を務める宮津市上世屋地区にある「マルヤ農林園上世屋&岡の前棚田跡交園」も認定され、安田・市瀬両名で受賞式に出席しました。

公園がある里波見地区と上世屋地区は約 5 km の距離で、標高差は 400m あります。そのため、生息している動植物に違いが見られ、近い場所にありながらも異なる自然環境がひろがっています。この2つの場所を繋ぐのが「世屋川」。生き物にとって大切な水を山から海に届けています。これからも丹後半島の生物多様性を守りつつ、自然や生き物の面白さを発信していきます。



海ごみ調査

丹後には数多くの海岸があり、観光地では砂浜のクリーンアップ活動が活発に行われている一方で、人目につかない海岸では漂着ごみが多く残り、長年の課題でした。

今年度は特に漂着ゴミの量が著しい京丹後市域の3か所【竹野（たかの）漁港、間人（たいざ）漁港、三津のゆぎの浜】を中心に調査を行い、ゴミの量や種類とともに、関連自治会や団体へのヒアリング調査を行いました。



地球デザインスクール

歴史編纂プロジェクト始動しました。



法人設立30周年を迎える2027年に向けて、設立から現在に至るまでを紐解く歴史編纂プロジェクトが動き始めています。初回は初代理事長である内藤顧問から法人の始まりや想い、これからの社会についてなど、お聞きしました。今後も法人の歴史を振り返りつつ、地球や未来について考えてまいります。

ご支援・サポート

地球デザインスクールの活動に賛同いただいた方々からご支援をいただきました。(五十音順、敬称略)

ご寄付

奥谷 三穂、小島 広裕 紀久子

ボランティア活動

倉野 良太、小林 秀美
嶋田 勇

人材育成

イベント出店やプログラムの運営補助に過去のキャンプ OG がボランティアとして参加。OG の成長を感じる機会となりました。

中学生の職場体験や大学生のインターンシップの受入れも実施。植生調査や生態系保全業務を体験いただきました。

ボランティア

24名(京都府立宮津天橋高等学校、京都橘大学、立命館大学)

職場体験

2名(宮津与謝中学校組合立
橋立中学校)

インターンシップ

2名(京都先端科学大学)

職員研修

- ・アルコール提供講座(講師:田茂井義信氏)
- ・星空案内視察(和歌山県/STAR FOREST)、昆虫調査視察(大阪府/箕面公園昆虫館)



橋立中学校 職場体験



イベントボランティア
(キャンプ OG)

活動の様子

日々の活動の様子は、SNSにて随時更新しています。ぜひご覧ください！
(いいね!&フォローもお待ちしてます!)



アカウント名

f 地球デザインスクール



アカウント名

umihoshi9111



アカウント名

f 京都府立 丹後海と星の見える丘公園



アカウント名

X @umihoshi9111



うみほし
#umihoshi

活動に参加する

日程
応相談



湿地整備の様子

プログラムや森づくりでは、様々な方のご協力が必要です。子どもから大人までどなたでも大歓迎!興味ある方はご一報ください!

E-mail/e-ds@e-ds.org

2025 度運営体制 【かっこ内は現場職員の担当】

- 理事 市瀬 拓哉(理事長) / 奥谷 三穂 / 清水 睦(総務) / 西原 重樹 / 野木 俊宏(園長) / 安田 潤
- 職員 岩下 昂央(体験) / 太田 征紀(設備) / 坂下 麗奈(体験) / 瀬戸 由紀子(食事)
- 徳本 英明(整備) / 藤田 和也(宿泊)



NPO 法人
地球デザインスクール

〒626-0202 京都府宮津市宇大島 496 番地 2

TEL / 070-2315-5050 E-mail / e-ds@e-ds.org HP / http://e-ds.org/